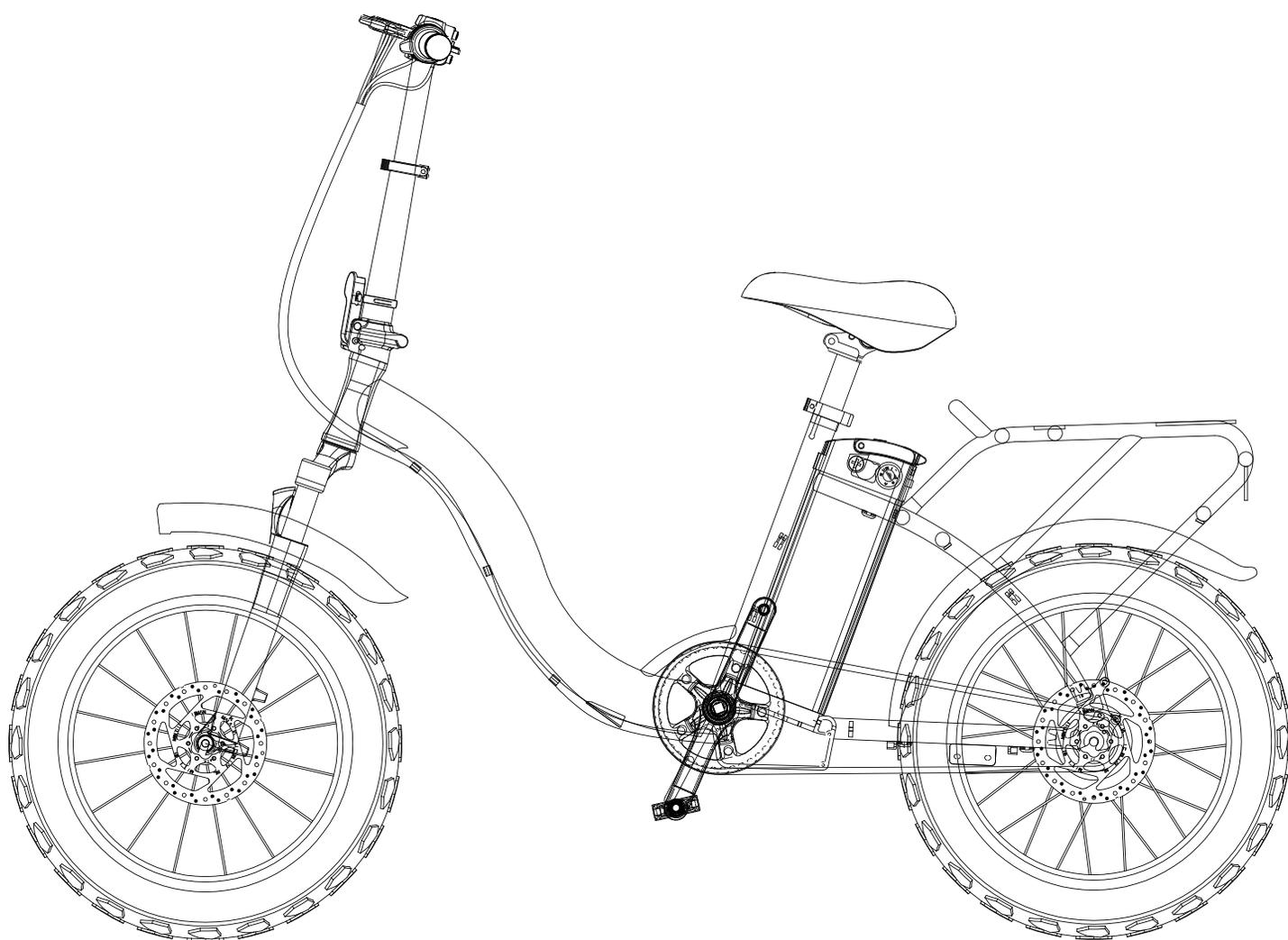


Ⓑ BRINGER
FAT-01

ユーザーマニュアル



付属：電動自転車本体、バッテリー（取り外し可能）、キー、充電器、ユーザーマニュアル

オーナーの皆様へ

この度は電動自転車をご購入いただきありがとうございます。このオーナーズマニュアルがお役に立てば幸いです。これから、当社の製品をお楽しみいただき、E-Bikeの楽しさををご友人、ご家族、大切な方と共有していただければ幸いです。

- 1.初めて使用する前に取扱説明書をよくお読みください。使用方法をご理解頂くことで電動アシスト自転車を使用する上での怪我につながる誤操作を避けることができます。また法律の遵守と安全運転を心がけてください。
- 2.製品を安全に使用するために本取り扱い説明書を読むことを推奨致します。
- 3.製品の操作についてご不明な点がございましたら、販売店にお問い合わせください。

推奨事項

- 1.電動自転車は折りたたんだ状態で配送されます。したがって、初めて使用する前に、必要最低限の組み立てをする必要があります。ギアやブレーキ等のコンポーネントの動きを調整し、ボルトが適切に締められているのかも確認します。
2. 14歳未満の子供による電動アシスト自転車の使用は、事故などの危険性も考えられる為、大人の監督下でのみ行うようにしてください。
- 3.疲れが溜まっている、および身体に不調のある人は電動アシスト自転車の運転はお控えください。
- 4.初めて使用する前にe-bikeを完全に充電する必要があります。
- 5.乗るときは、ヘルメット、膝と肘のプロテクターを使用してください。

 製品の誤った使用およびまたはマニュアルを無視した使用をした場合、ユーザーは怪我を負う可能性があります。販売店、販売元は、ユニットの誤った使用によって引き起こされたいかなる損害についても責任を負いません。

1. 製品概要

1.1. 本製品について

製品の誤った使用およびまたはマニュアルを無視した使用をした場合、ユーザーは怪我を負う可能性があります。販売店、販売元は、ユニットの誤った使用によって引き起こされたいかなる損害についても責任を負いません。

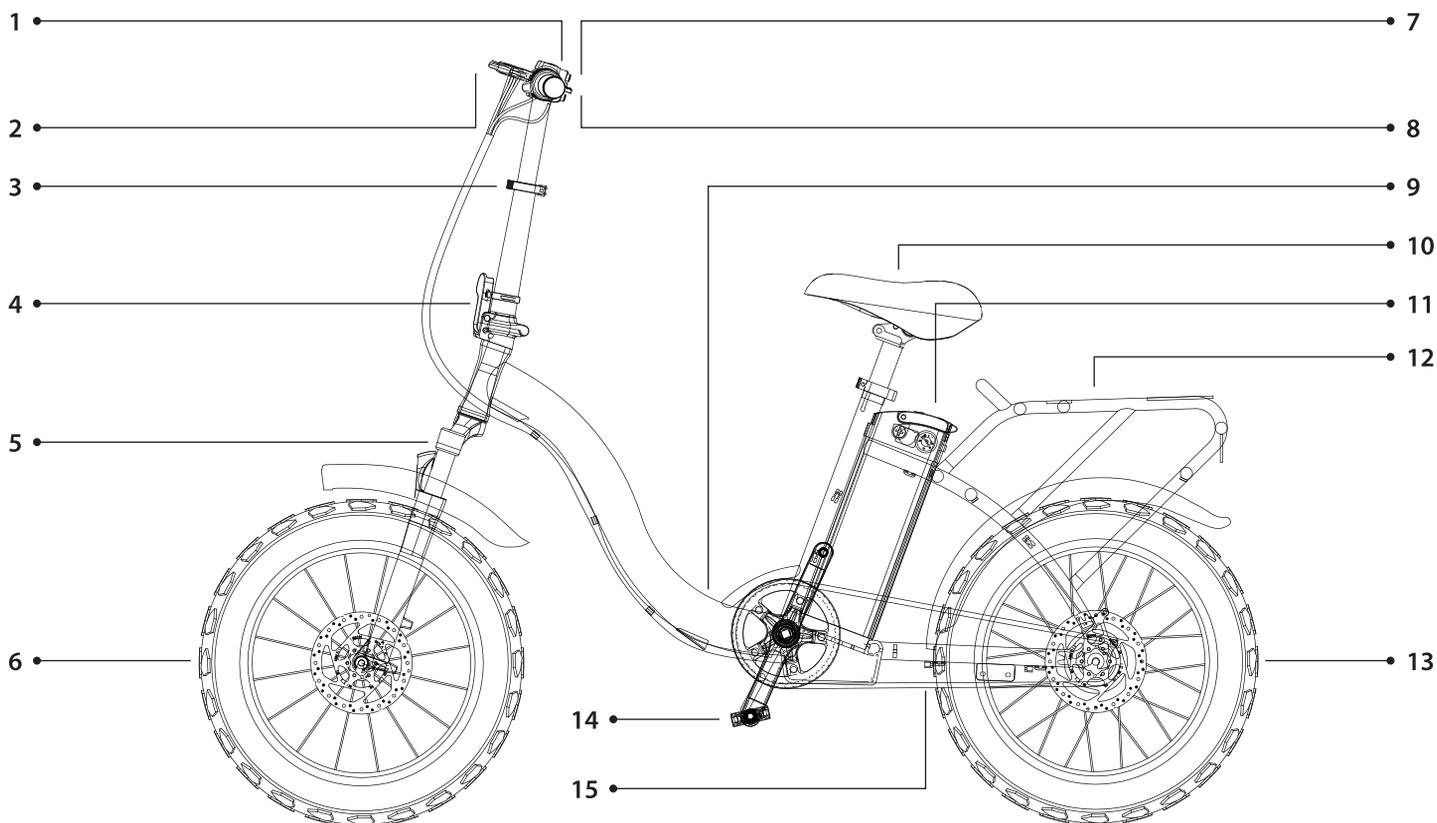
1.2. 使用前に

電動アシスト自転車を初めて使用する前に、取扱説明書をよく読んで自分自身と他人の安全を確保してください。

⚠このユーザーマニュアルを無視し安全上の注意に従わない場合、電動アシスト自転車やその他の物に損害を与えたり、重傷を負ったりする可能性が考えられます。

1.3. 製品の詳細と構成部品

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. オンボードコンピューター | 9. 折りたたみ式フレーム |
| 2. ハンドブレーキレバー (フロントとリア) | 10. サドル |
| 3. ステアリングコラムシステム | 11. バッテリー (キーで取り外し可能) |
| 4. ステアリングホイール折りたたみ機構 | 12. リアキャリア |
| 5. ショックアブソーバー付きフロントフォーク | 13. リアホイール (モーター機構) |
| 6. ディスクブレーキ付き前輪 | 14. 折りたたみ式ペダル |
| 7. ベル | 15. キックスタンド |
| 8 変速シフト | |



2.製品の使用方法

2.1. 組み立てと調整

1. フレームを広げ、フレームの中央にあるロックレバーをロックします。

注：ロックの解除は次の手順を行ってください。

- ロックレバーを解放します。
- ロックの軸を手前に向けてラッチを広げます。
- 車軸を上にしてピンを引き上げます。

2. キックスタンドを下げます。

3. ペダルを取り付けます。

• ペダルの取付方向に注意してください。【(L)は左ペダル、(R)は右ペダル：ネジ部分に印字があります】

• Lペダルを左に、Rペダルを右に取り付けます。

• 逆回転方向にペダルを回しながらゆっくり取り付けボルトを完全に締めてペダルを固定します。

注：輸送時にはペダルにあるレバーを引くとペダルを折りたたむことができます。ペダルを広げるには、カチッと音がするまでペダルを引き上げます。Lペダルには左ネジが、Rペダルは右ネジとなっております。不適切な設置による損傷は補償されませんのでご注意ください。

4. ステアリングコラムクランプを上げます。

5. ステアリングコラムクランプを閉じ、ネジを回します。

6. クランプを使用してステアリングコラムの高さを調整します。

7. ステアリングをセンターに位置を合わせロックします

8. ハンドブレーキレバーの傾斜角度を調整します。

• ステアリングホイールへの固定ネジを緩めます。

• ブレーキレバーの傾斜角度を調整します。調整は手首が楽になり力の入りやすい角度に調整する必要があります。

• ブレーキレバーをステアリングホイールに固定しているネジを固定します。

9. クランプでサドルの高さを調整します。

- 初めて自転車を組み立てるときはサドル位置を調整してください。

- ペダルの最低位置で脚を膝でわずかに曲げると、最適な高さが得られます。

2.3. 折りたたみ方法

1. シートクランプを開き、レバーを完全に下げます。

2. キックスタンドを折り畳みます。

3. フレームクランプを開きロックを開放します。その後電動アシスト自転車を半分に折ります。

4. ステアリング部分のレバーを開き折りたたみます。

2.3. バッテリーの取り外し方

キーを使用して、電動自転車フレームのバッテリーロックを解除します。キーをロック解除位置に回し、バッテリーを引き上げて取り外します。取付は逆の順序でできます。(バッテリーの取り外しはシートの取り外しも必要ですのでご注意ください。)

2.4. オンボードコンピューター



パワースイッチボタン

- (長押し) 電源ON/OFF
- (短押し) ライトON/OFF

調整ボタン

- + (短押し) アシストレベル調整

システム設定ボタン

- (長押し) 設定モード
- ※ユーザー様からはバスクードによりアクセスできなくなっております。

エラーコード一覧

- 21...電流エラー
- 22...ハンドルエラー
- 23...モーター故障
- 25...ブレーキ故障
- 30...モニターの通信エラー

3.操作全般について

3.1. 本製品の操作

- 1.電動自転車が完全に組み立てられ電源ケーブルがバッテリーに接続されていることを確認します。キーをバッテリーロックに挿入し、すべての電源を入れます
2. ON / OFFボタンを押して、電動自転車の電源をオンまたはオフにします。電源を入れると、オンボードコンピューターにバッテリーの充電レベルと設定された速度モードが表示されます。必要な速度モードを選択するにはMODEボタンを使用します。
- 3.【ライト】ボタンを使用して、ヘッドライトをオンまたはオフにします。
- 4.モードを選択した状態でペダルを漕ぐと、アシスタントモードに応じたアシストが自動的にアクティブになります。電気モーターが推進を補助します。(補助アシスト有効は時速24Kmまで)
- 5.本製品には6段変速がありますのでシフトレバーを使用して走行速度に応じた最適なギアを選択します。
シフトレバーは右側のハンドルバーにあります。シフトレバーはペダリング中のみ使用してください。(停止中の変速はギアを痛める可能性がございます)
- 6.停止時はブレーキレバーを使用します。ブレーキをかけると電気モーターがオフになります。

⚠ 使用する前に、本体各パーツが正常に機能していることを確認してください。すべての留め具部分のねじが緩んでいないか確認してください。タイヤの空気圧を確認してください。空気圧は2.5~3.0気圧にする必要があります。ブレーキが正常に作動していることを確認してください。ケーブルと配線が断線していないことを確認してください。ブレーキとアクセルを同時に使用しないでください。

⚠ 公道で横断歩道を横断する時など電動自転車に乗っていない時は常に電源を切ってください。アシスト機能は電動自転車の電源を入れたときにのみ機能します。

3.2. ヘッドライトについて

- ヘッドライトが点灯することを確認してください。車や歩行者の妨げになるのでライトの向きが上向きすぎないことを確認してください。
- ヘッドライトは、視界が悪いときをはじめ、薄明かりや暗闇の中で使用する必要があります。バッテリーが充電されていることを確認してください。
- 視界の悪い状況では常に照明をオンにしてください。道路がよく見えるだけでなくライトが点灯となっていると周りから視認されやすくなります。

3.3. ブレーキシステム

- 安全なサイクリングを行うためにはブレーキの安全な取り扱いが重要です。乗車前には常にブレーキをチェックしてください。
- ブレーキシステムの効果は環境によっても変化します。例えば路面の特性(砂利道、土壌など)、追加の積載量、下り坂、または雨天時には効きが悪くなる可能性があります。濡れた路面では乾いた路面に比べて停止距離が最大60%長くなる可能性があります。このことを考慮して道路状況が悪い場合はスピードを出さず細心の注意を払って運転することをお勧めします。
- 各乗車前にブレーキの効きを確認してください。ブレーキの調整を誤るとブレーキ力の低下やブレーキの故障により事故を起こす可能性があります。
- 車輪が滑ったりロックしたりしないように、急激に激しいブレーキをかけないでください。
- ブレーキのメンテナンスと修理は知識のある自転車店で行うことを推奨します。
- ブレーキの構成部品は適切な動作が保証するため純正品とのみ交換してください。

3.4. 制限最大体重

制限最大体重:120kg

⚠ 注意!
重量制限は安全のために設定されていますので許容重量を超えないようにしてください。

3.5. 駆動時間について

E-バイクの駆動時間は環境下によっても変動します。大きな要因となるのは以下項目です。

地形:滑らかで平坦な地面では走行距離が伸びます。逆に上り坂や起伏のある地形を走行する場合は大幅にバッテリー駆動時間が短くなる可能性があります。

体重:ユーザーの体重や荷物の積載量は距離に影響を与える可能性があり、自転車にかかる総重量が軽いほどバッテリー充電が長持ちする傾向にあります。

周囲温度:自転車本体の寿命とバッテリーの寿命を伸ばすため、推奨温度内で電動自転車を使用および保管してください。

メンテナンス:適度なバッテリーの充電とメンテナンスは、機器の寿命を延ばします。バッテリーの過充電は避けてください。

スピードと乗車姿勢:通常の自転車と同じように始めましょう。適度な速度で運転してください。頻繁で激しい加速、不均一な動き、長時間の高速走行は電動自転車の航続距離を短くします。

4. 電動自転車の充電

ステップ1: 充電ポートに汚れがなくキャップの下が濡れていないことを確認します。ポート内にほこり、破片、汚れがないことを確認してください。

ステップ2: 充電器をコンセントに接続します。充電器のインジケータライトが緑色であることを確認します。

ステップ3: ケーブルを電動自転車の充電ポートに接続します。充電器のインジケータライトが赤に変わります。

赤のランプはE-バイクが充電中であることを意味し、緑のランプに変わると完全に充電されている状態になります。フル充電には通常5~6時間かかります。

ステップ4: 充電器を電動自転車とコンセントから抜きます。



- バッテリー容量の損失を避けるために可能であれば、乗車後毎にバッテリーを完全に充電してください。
 - バッテリーの充電中は、電気モーターを作動させないでください。
 - 乗車前に、充電器が電動自転車のバッテリーから外されていることを確認してください。
 - 付属の充電器のみを使用してください。
 - 充電器のラベルに記載されている指示に従ってください。
 - 充電器は、充電式の電動アシスト自転車バッテリーと一緒に使用してください。他のメーカーの充電器を使用しないでください。
 - 充電器は屋内での使用のみを目的としておりますので屋内のコンセントを使用して充電ください。
 - 濡れた手で充電器やプラグに触れないでください。
 - バッテリーの充電プラグの近くに導電性(金属物など)がないことを確認してください。雷雨だけでなく直射日光と高温にもご注意ください。
 - 充電するときは、その場所が十分に換気されていることを確認してください。
 - 最適な充電温度【+5°C~+30°C】極端な寒さや暑さは、バッテリーの再充電を妨げます。
 - 充電時間が指示に示されているよりも明らかに長い場合は、充電を停止してカスタマーサービスに連絡してください。
 - バッテリーを長時間充電状態にしないでください。
 - 充電が完了したら、充電器を電源から外してください。
 - 充電器を開けたり修理したりしないでください。故障している場合はカスタマーサービスにお問い合わせください。
 - 充電器は、身体的、感覚的、精神的能力が低下している人、経験不足、および/または必要な知識が不足している人が安全に責任を負う人の監督下でない限り、使用しないでください。充電器は通常、子供の手の届かないところに保管してください。
 - インジケータが赤く点滅する場合はバッテリーが完全に放電したことを意味します。ほとんどの場合、リチウム充電器の寿命と考えられるので公式サポートセンターに連絡してください。
- 注 充電中のバッテリーの状態を示すのは、充電器のインジケータのみです。

5. バッテリーについて

この項目ではバッテリーと充電器に関する情報を提供します。このセクションをよくお読みになり、ユーザーの安全を確保とバッテリーの寿命を延ばし、バッテリーのパフォーマンスを向上させてください。

バッテリーチャージ・充電時間

電池の残量が少なくなったら使用を中止し、充電器でバッテリーを充電します。

満充電までには4～6時間かかります。

バッテリーの特性

電池特性	リチウムイオン
充電時間	4-6 時間
電圧	36 v
バッテリー容量	10.4Ah
作動温度	+5° ~ +30°
補完湿度	5% - 95%

バッテリーの安全上の注意

- バッテリーを低温で長期間保管しないでください
保管推奨湿度: 5%～95% (バルコニー、ガレージなど)。
- バッテリー液漏れを触った場合はすぐに医師の診察を受けてください。
- バッテリーを改造したり交換したりしないでください。
バッテリーが焦げ臭い臭いを発し始めた際は電動アシスト自転車を速やかに停止し、使用しないでください。過熱や液漏れがあるので危険です。
- バッテリーが損傷している場合はバッテリーに触れたり、充電したりしないでください。バッテリーからの物質からの蒸気を吸い込まないでください。子供や動物がバッテリーに触れないようにしてください。異常が見られる場合はサービスセンターにお問い合わせください。
- バッテリーには有害物質が含まれています。バッテリーを開けたりバッテリーに異物を挿入したりしないでください。
- 付属の充電器のみを使用してください。
- 不適切な使用または保管時の不具合の結果として、電動自転車の充電が停止した場合は充電をしないでください。自分でバッテリーを修理せずサービスセンターにお問い合わせください。
- リチウムイオン電池の取り扱いと廃棄については地域の取り決めおよび法律に従ってください。

6. メンテナンスと保管について

本製品では事故予防の為に定期的な検査とメンテナンスが必要です。このセクションでは、メンテナンスと操作の手順について説明します。次の操作を実行する前に充電器が繋がっていないことを確認してください。

6.1. 一般規定

- 電子部品を保護するため電動自転車を2か月以上使用しない場合は必ず乾燥した場所に保管してください。
- 電動アシスト自転車を保管する前にバッテリーを完全に充電することをお勧めします。
- バッテリーは、氷点下以外の乾燥した涼しい場所に保管する必要があります。

最適温度

電動自転車の操作、充電、保管+ 5°C ~ + 30°Cの範囲の場所で行ってください。

- 修理、メンテナンス、お手入れのために電源を切り、バッテリーを外します
- 電動自転車のすべてのネジを定期的に (少なくとも3か月に1回) チェックする必要があります。緩んでいる場合は、締めすぎない程度に締めます。電動アシスト自転車が常に技術的な安全要件を満たし正しく機能することを保証する唯一の方法です。シフトおよびブレーキコンポーネントの調整ネジは含まれません。
- 保管期間全体を通して、少なくとも月に1回はバッテリーを完全に充電してください。

必要なツール

これは特にブレーキシステムを使用する場合に当てはまります。不適切または不十分な修理作業は、電動アシスト自転車の損傷、誤動作、事故につながる可能性があります。

- 電動自転車は定期的な点検とメンテナンスが必要です。継続的なメンテナンスで製品状態を良好に保ちます。

技術的な安全要件の順守と適切な操作

- 電動アシスト自転車またはその個々の部品は、使用中、事故、または不適切な取り扱い中に部分的に摩耗が増加する可能性があります。ひび、引っかき傷、変色は、当該部品が突然故障する可能性があることを示している可能性があります。これは特に、フレーム、フォーク、ハンドルバー、ステム、サドル、シートポスト、すべてのブレーキコンポーネント (特にブレーキレバー、ブレーキパッド)、ライト、ペダル、ホイール、タイヤ、チューブなどの曲がったり損傷した関連部品に当てはまります。このような欠陥部品は絶対に個人では修理しないでください。問題が見つかった場合は、すぐに新しいオリジナルのスペアパーツと交換してください。
- 電動自転車のフレーム、電動部分、タイヤに損傷や過度の摩耗がないか定期的に確認してください。

- このE-Bikeに使用されているパーツは特別に設計されたものを使用しているため、純正のスペアパーツのみを使用してください。これは特に、フレーム、フォーク、ハンドルバー、ステム、サドル、シートポスト、すべてのブレーキコンポーネント（特にブレーキレバーとブレーキパッド）、ライト、ペダル、ホイール、タイヤなどの安全関連部品に当てはまります。サードパーティ製の交換用部品を使用すると、電動自転車の安全性に深刻な影響を与える可能性があります。
- ほこりが電動自転車の内部に入るのを防ぐために電動自転車を元のパッケージに保管するか、厚手の布などで包んで保管してください。
- 電動自転車は、乾燥した密閉された場所に許容温度内で保管してください。

⚠ 電池の残量が少なく電動自転車を自分で分解しないでください。保証の対象外となります。なったら使用を中止し、充電器でバッテリーを充電します。

6.2. 定期メンテナンス

E-Bikeの定期メンテナンス(MOT)は、製品のパフォーマンスや信頼性、安全性を維持するために非常に重要です。使用の強度と条件に応じて、定期的に(ただし少なくとも月に1回)必要です。

- チェーンをきれいに拭き、注油します。
- タイヤの空気圧を確認してください。
- すべてのネジ接続を確認(およびゆるんでいる場合は締めてください)します。

⚠ ネジの緩みは保証の対象ではありません。

電動アシスト自転車の機械部分のメンテナンス頻度は運転スタイル、操作条件、保管条件によって異なります。

電動アシスト自転車の機械部分のメンテナンス頻度は運転スタイル、操作条件、保管条件によって異なります。主要部品の摩耗は異なる場合があります。以下は、電動自転車の機械部品のメンテナンス時間に関する一般的なガイドラインの表です。

詳細	毎回・サイクリング	100~150 kmごとに1回 またはサイクリング後に	500~1000kmごと	4~5千kmに1回 または年に1回
ブレーキ	簡易チェック	ブレーキレバーの清掃と注油		
タイヤ	圧力チェック		交換推奨	
チェーン		洗浄、オイルアップ	洗浄、潤滑、伸びチェック	
フォーク		洗浄、オイルシールチェック グリスアップ	分解洗浄	
スプロケット		洗浄	洗浄と潤滑	
ブレーキパッド		摩耗チェック	交換推奨	
リアディレーラー		洗浄	要調整	
ステアリング			動作不良を確認	
ペダル、ブッシュ			異常がないことを確認し、 洗浄、潤滑	
ケーブル周り			劣化確認、劣化がある 場合交換	
スイッチ類			ランプの点灯、その他動作確認	
ブレーキレバー		ブレーキレバーの清掃/注油		
バッテリー				バッテリー残量の 不足を確認

チェーンのメンテナンス

チェーンは自転車の最も負荷の高い要素であり、清潔に保ち、表面に潤滑剤を塗布します。運転条件にもよりますが、次の一連の動作を観察しながら、約100～300kmの走行後にチェーンに注油することをお勧めします。

+汚染されたチェーンを乾いた布で拭きます。+ブラシと特殊な洗浄剤または灯油、ディーゼル燃料またはガソリンで汚れを洗い流します。

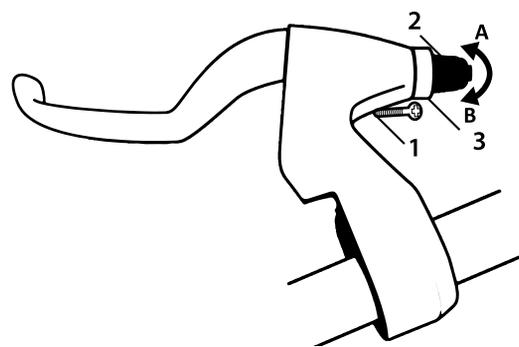
- チェーンを乾いた清潔な布で拭き5分間乾かします。
- チェーン全体に潤滑スプレーまたは液体オイルを塗布します。
- 10～15分後に余分なグリースを取り除きます。

ブレーキの調整

ブレーキレバーとブレーキケーブルの張りを調整するメカニカルブレーキのブレーキレバーには、レバーまでの距離を変調整するネジとケーブルの張りを調整するネジの2つの調整があります。ネジを回すとレバーまでの距離が変わります
1レバーを指で簡単に届くように、同時にレバーを押してもハンドルに届かないようにレバーの位置を設定します。

2はロックナットです。

3のネジは、ブレーキケーブル張力の操作上の調整にのみ使用されます。張力を調整するときは、必ずロックナットでネジを固定してください。



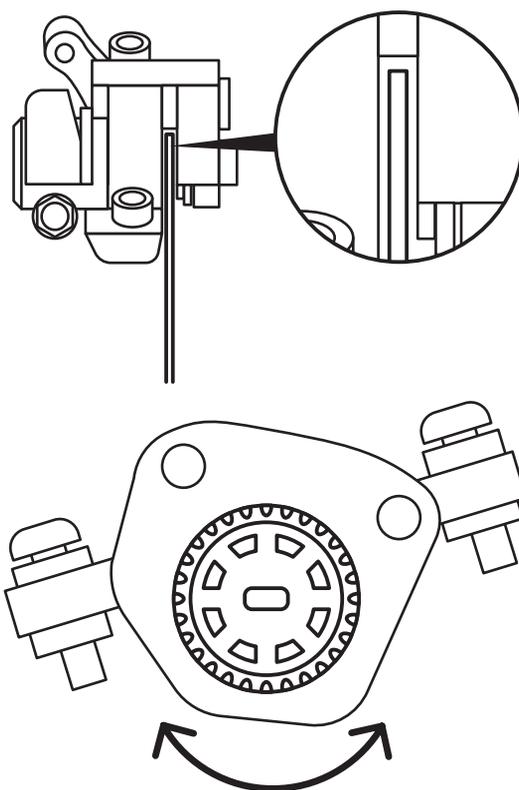
機械式ディスクブレーキの調整

メカニカルディスクブレーキの調整メカニカルディスクブレーキには、1つの固定シューと1つの可動シューがあり、ブレーキレバーからのブレーキケーブルによって駆動されます。パッドとメカニカルディスクブレーキボディの両方が配置されています。後者を調整することから始めます。

- ブレーキ本体をキルクに固定している固定ボルトを緩めます(フロント用ブレーキ)とフレーム(リアブレーキ)。
- ブレーキディスクが正確に中央で動くようにブレーキハウジングを調整します。
- ブレーキハウジングが傾かないように、固定ボルトを締めます。
- ブレーキボディ内側の調整を使用して、ブレーキディスクまでの最小距離に固定されたブレーキパッドを調整します。ただしディスクとの接触を避けるブレーキハウジングの外側の調整を使用してクリアランスが1mmを超えないように可動ブレーキパッドを調整します。

-ブレーキの作動を確認してください。ブレーキレバーがハンドルバーに載る前に、パッドが互いに(ブレーキディスクを介して)完全に接触する必要があります。必要に応じて、レバーのアイドル速度を調整します。

適切に調整されたメカニカルディスクブレーキは、ブレーキレバーが押されたときにe-bikeを確実に停止し、ブレーキレバーが解放されたときにブレーキディスクが回転するのを妨げないようにする必要があります。ホイールに知覚できるブレーキングが発生しない場合は、パッドでディスクに軽く触れることができます。パッドがこすれるまで、または濡れた路面や泥だらけの路面でバイクに乗った後、ブレーキがきしむことがあります。これは正常であり、ハイブリッドバイクの停止距離がわずかに長くなる可能性があります。きしみ音は長時間停止します。



7.仕様

- タイヤ:20 "FAT、インフレーターブル
- 負荷:最大120kg
- モーター:ブラシレス
- ブレーキシステム:フロントとリアのディスクブレーキ
- バッテリー:リチウムイオン、36 V 10.4 Ah (374.4 Wh)
- ショックアブソーバー:フロント
- 電源:-100-240 V / 50-60 Hz
- サイズ:136x57x173 cm•充電器の出力電圧:42 V
- 重量:23.5 kg



メーカーは、事前にデバイスの設計と仕様を変更する権利を留保します



事免責事項:

お住まいの国の法律、及び各都道府県の条例、規制を遵守してください。製造業者は購入者のスピード違反の取り締まりについて責任を負いません。事前にデバイスの設計と仕様を変更する権利を留保します

8.使用環境上の注意

本製品は外部からの影響、衝撃、ほこり、汚れ、湿気、腐食に対する耐性が認定されています。電気部品はさらに外部放射から保護されています。ただし、製品を誤用すると、重大な損傷を引き起こし、保証が無効になるリスクがあります。

使用上の注意

- 長期間の雨ざらしなどの環境は避けてください。本製品はアスファルトでの走行に適しています。大雨時は無理に乗らないようにしてください。深さ2cmを超える水たまりの中を運転することはおやめください。
- 氷点下の環境で運転しないでください。リチウムイオン電池が急速に劣化します。湿った雪の中を運転しないでください。
- 寒くて湿気の多い部屋での電動自転車の冬季保管は避けてください。電動自転車の操作の最適温度は+ 5 °C~+ 30°C。
- 充電コネクタは常に保護キャップで覆い、汚れや水が入らないようにしてください。
- それでも電動自転車が水や霜にさらされて濡れている場合は暖かい部屋に持ち込み、充電器を接続せずに少なくとも24時間暖めて乾かします。
- 電動アシスト自転車を強烈な熱源(ラジエーター、バッテリー、ヒーター)の近く(1メートル未満)に放置しないでください。
- 効率を維持するために、バッテリーを定期的に50%まで以上の充電、または30日以内の間隔で1時間充電してください。
- 電動自転車を5~6時間以上充電しないでください。長時間充電したままで放置しないでください。
- 衝撃や機械的損傷を避けてください。電動自転車に機械的衝撃が加わったり明らかに破損した場合、充電せずに必ずサービスセンターで予防点検を行ってください。

9.安全上の注意

以下の安全上の注意に従わないと、電動自転車やその他の資産に損傷を与える可能性があり、メーカーの保証が無効になる可能性があります。また、併せて9.1も必ずお読みください。

9.1. 安全上の注意

以下の安全上の注意に従わないと、電動自転車やその他の資産に損傷を与える可能性があり、メーカーの保証が無効になる可能性があります。また、併せて9.1も必ずお読みください。

- 14歳未満の方には電動自転車の使用はお勧めしません。
- 電動自転車は、極端な走行やオフロード走行用には設計されていません。
- 取扱説明書をよくお読みください。
- 必要なすべての保護装置を使用してください。
- 他の道路利用者が認識しやすいように、夜間は明るく反射する服を着てください。
- 電動自転車には回転部品と可動部品があります。不適切な衣服、不適切な取り扱い、または注意の欠如は怪我のリスクを生み出します。
 - ぴったりとしたズボンを着用してください。必要に応じてバイクパンツクリップを使用してください。
 - ゆったりとした衣服は、自転車のホイールやその他の回転機構に引っかかる可能性があります。
 - 安定性を提供する滑り止めの固い靴底の靴を着用してください。
- まず、交通から離れた場所での電動自転車の操作と動作をよく理解してください。特に、スタート、ブレーキング、ターンの練習をします。
 - 電動自転車のブレーキが効果的に機能し、常に電動自転車を良好な技術的狀態に保つようにしてください。減速または停止するときは、ブレーキ力を制御してください。転倒を避けるためにフロントブレーキに過負荷をかけないでください。停止するには、両方のブレーキで同じ強さでブレーキをかけてみてください。スムーズに減速するには、リアブレーキのみを使用してください。
 - 雨天時にはブレーキの効果が失われるため、運転するときは常にこの点に注意してください。また、道路の溝は乾いた状態よりも滑りやすいので、濡れた路面や濡れた路面を運転するときは速度を制御し、急な操作や急ブレーキを避けてください。線路や路面電車の線路、金属面を運転するとき、および雨天で特に滑りやすい路面標示を通過するときは、特に注意してください。
 - 加速または減速するときは、転倒につながる可能性があるため重心を制御する必要があります(体重が前方に移動するのを防ぐため)。
 - 電動自転車は、質量が大きいため、従来の自転車よりも制動距離が長くなります。
 - ブレーキレバー引くとアシストは自動的に停止します。
- 危険な状況での確実な加速。
 - 運転中にペダリングを停止すると、アシストは徐々に自動的に停止します。
 - 危険な場所で電動アシスト自転車を使用しないでください。
 - 薬物やアルコールの影響下にある間は電動アシスト自転車を使用しないでください。
 - 不安や眠いときは電動自転車を使用しないでください。
 - 危険な状況から身を守るために、常に警戒を怠らないでください。
 - 空のスケートプールやその他のスケートボード施設には乗らないでください。
 - 電動自転車を使いすぎないでください。不適切な使用は、デバイスを損傷する可能性があります。
 - 乾燥した平らな面でのみ運転してください。湖、泥、砂、岩、砂利、破片の近く、または凹凸のある場所に乗らないでください。
 - 悪天候では乗らないでください。雪、雨、雹、雪、凍った道路、極度の暑さ、または0°C未満の気温
 - プールや水域の近くに乗りません。
 - 妊娠中の女性の使用はお控えください。
 - 幼児や高齢者は、適切なトレーニングと監督なしに電動アシスト自転車を操作することはできません。
 - 最大または最小の重量制限を超えないでください。
 - 貨物の輸送にトレーラーまたは同様の装置を使用しないでください。
 - 二人乗りはしないようにしてください。
 - 縁石やその他の凹凸を高速で運転しないでください。ホイールリムの早期摩耗、それらの破損、およびチューブとタイヤの破裂による損傷につながる可能性があります。
 - 電動自転車を販売または寄付する際は、取扱説明書を遵守し内容を伝えてください。

9.2. 公道走行時の注意事項

•まず、公道から離れた場所での電動アシスト自転車の操作と動作をよく理解してください。特に、スタート、ブレーキング、ターンの練習をします。LOW(省エネモード)で開始します。

•高速で急旋回しないでください。曲がる前に周辺を確認する必要があります。

•視界が悪いときは必ず照明をつけてください。これにより、路面だけでなく他の交通者、車からもよく見えるようになります。

•運転中はヘッドホンでプレーヤーやラジオを聴かないでください。音声が届かない場合、歩行者や車両の接近に気づかない場合があります。非常に危険な場合があります。

•電動自転車に乗るときは、道路状況、人の動き、さまざまな障害物の場所を確認しながら運転してください。

•混雑した場所で電動自転車に乗らないでください。

•周囲の人の安全を念頭に置いて電動アシスト自転車を操作してください。

•話したり、メッセージを送信したり、電話を見たりしながら、電動自転車に乗らないでください。

•通行が禁止されている場所で電動自転車に乗らないでください。

•電動アシスト自転車に乗っている間はタバコを吸わないでください。

•公道を運転するときは、すべての交通規制に厳密に従ってください。ドライバーは本製品が電動アシスト自転車であることを忘れないでください。

自転車は道路交通法の軽車両となります。公道を移動する際の法的権利に加えて、交通規則の要件に従う義務があります。

-あなたは道路の左側、車道の端にできるだけ近くに保つ必要があります。

左以外の車線での移動は禁止されています。

-集団で運転する場合、並走はせずに前方の人までの距離に注意しながら1列に並んで運転する必要があります。

•道路上のくぼみ、溝、その他の危険な物体に注意してください。突然道路に障害物を見つけた場合は、左側に障害物を避けてください。後ろから接近する車両は、衝突を回避するのに方向を変えることができない場合が多いことを忘れないでください。

•横断歩道で車道を横断するには、電動アシスト自転車から降りて電源を切る必要があります。徒歩で車道を渡り、オフの状態では電動自転車を押して運びます。横断歩道を通行中は歩行者の通行に関する交通規則に従ってください。

•交通状況を確認してください。電動アシスト自転車の運転手は車よりも目立たないことを忘れないでください。車から十分な距離を維持してください。特に、縁石(歩道)に停車している車を避ける場合は注意が必要です。ドアの急な展開に注意する必要があります。

•公道で他の道路利用者と競争しないようにしてください。

•電動アシスト自転車または同様の製品の使用については、国、都道府県および地域の法律、条例を遵守してください。

9.3. 電気保安上の注意

- E-Bikeは長い上り坂には適していないため、エンジンが過熱しオーバーヒートする可能性があります。歩行者の多い混雑した場所では、アシストをオフにしてください。
- バッテリーが完全に放電すると、動作が不安定になる場合があります。この場合システムの電源を切ります。
バッテリーの損傷を防ぐために
- バッテリーケースを開けたり、電動アシスト自転車を自分で修理したりしないでください。メーカーの保証が無効になり、ユニットが誤動作して重傷を負う可能性があります。
- 電動アシスト自転車のバッテリーは使用上には安全設計されていますが、安全上の理由から使用済みのバッテリーはゴミ箱に捨てないでください。地域のルールに従い廃棄する必要があります。
- この電動自転車には付属のバッテリーのみを使用してください。端子が損傷しているバッテリーは使用しないでください。交換する必要があります。
- バッテリーを火や高温から遠ざけてください。
- バッテリーの中に水が入らないようにしてください。
- バッテリーに強い衝撃を与えないでください。
- E-Bikeを輸送するときは、バッテリーを取り外してください。
- 輸送中は、E-Bikeとバッテリーが安全に保管されていることを確認してください。
- バッテリーが可燃のある危険な場所で乗らないでください。(蒸気、液体、ほこり、火)

保証事項

ご使用前に、説明書に従って完全性をご確認ください。購入したデバイスの保証修理が必要な場合は、認定サービスセンターにお問い合わせください。保証期間は製品の購入日から始まります。製品を購入するときは、同封の保証書に正しく完全に記入する必要があります。購入日（領収書）の確認がなく、保証書に取引組織のマークがない場合、または保証期間が設定できない場合、保証期間はメーカーが製品を発売した時点から計算されます。製造者の過失により商品が故障した場合、取扱説明書に記載されている操作規則に従い、所有者は保証期間中に無料で商品を修理する権利を有します。商品の無料修理は、保証書に記載されている保証期間中のみ行われます。

次の場合保証サービスを受けることができません。

- ケース、電源への機械的損傷の存在。
- モデルの不一致、保証書に指定されているシリアル番号、
- 製品構成の変更、または商用目的での製品の使用。
- 製品に改ざんの痕跡がある場合、電源装置に水が入っている痕跡がある場合、または修理が試みられた場合許可されていないサービスセンター内のデバイス。
- 製品の設計または図に許可されていない変更が検出された場合。
- 誤用、不適切な使用、充電によりデバイスが故障した場合。

次の場合、製品の品質に対する主張は認められません。

- 異物、物質、液体、昆虫が製品に侵入した場合。
- 不可抗力の状況（洪水、局地豪雨、ハリケーン、火災、地震）。
- 電源パラメータおよび他の同様の外部要因の州の基準への違反、1000ワット以上の容量を持つ掃除機など）。保証の対象外：
- 自然な摩耗や破損の影響を受ける消耗品および部品。
- 留め具を紛失した。
- 記載されているバッテリーの充電および保管に関する規則に違反したためにバッテリーが損傷した

本体保証について

ホイールとボディも正しくない使用の場合にのみ深刻な損傷を受ける可能性があるため、保証による修理の対象にはなりません。

購入者による不注意な使用。ネジの緩み、可動ユニットとアセンブリへの注油の必要性、および自然な摩耗や破損の影響を受ける部品の交換は、製品の定期的なメンテナンスに含まれ、保証対象ではありません。これらの故障の解消は有償で行われます。メンテナンス手順に従わない場合、メーカーは修理を拒否する権利を留保します。

バッテリーのメンテナンス

- バッテリーの品質を安定させるためには定期的（少なくとも月に一度）な再充電が必要です（デバイスの使用頻度に関係なく）
- バッテリーは一番最初の使用にあたってはフル充電にする必要があります。これには最大6時間かかる場合があります。この手順の前に短期間のスイッチオンと製品の操作性のチェックのみが許可されます。
- バッテリーが完全にまたはほぼ完全に放電している場合は使用終了後バッテリーをすぐに充電する必要があります
- 長期保管（2週間から1年以上）の場合は、月に1回の充電をお勧めします。これにより、長期保管中のバッテリーの安全性が保証されます。
- バッテリーの故障に繋がるのでデバイスを低温（0℃未満）で使用することは許可されていません。

○その他詳細な保証規約につきましてはこちらからご確認ください。



製造メーカー:BRINGER

所在地:大阪府大阪市東住吉区中野1-2-5

TEL:06-6586-6909

Made in China